

第1号議案

平成22.年度事業報告

概 要

1979年10月に発足した神奈川県支部は、脊髄損傷者と重度障害者の支援活動を目的に継続し、今年33回目の支部総会を迎えました。

毎年開催している支部総会では、開催日時や開催場所をはじめ支部役員選挙、事業報告と事業計画、予算、決算などの提案を各会員の皆様にお知らせして、その賛否を諮り、合意を得て支部を運営してきました。

また、神奈川県支部は会員の皆様とともに神奈川県に根付いた支部活動を中心にすすめてくることができました。

その結果、現在では支部で実施する年間行事も支部総会の開催を基本にセミナーや食事会、旅行会など年間約6回以上の催事を会員の皆様にご案内できるようになりました。

このような中で、平成20年に公益法人制度が改正されたことにより、いま全脊連は平成25年11月までに公益社団法人へ移行するか、或いは一般社団法人にするか、または任意団体になるのか、という選択を迫られています。

同時に、全脊連の支部である神奈川県支部も公益法人に移行するか、どうかという問題にもなります。

しかし、支部では今年度の全国総会で公益法人への移行に賛成して、歴史ある全脊連活動がより広く社会に認知され、不特定多数の人の利益になる公益事業を実施する団体になる必要があると思います。

また、全脊連発祥の地である神奈川県支部の活動も、脊髄損傷者や重度障害者を支援する公益社団法人に移行して、公益事業を実施する団体になることが発足33年目を迎える神奈川県支部の責務ではないでしょうか。

今後、そのための様々な難しい手続きが必要となりますが、神奈川県支部の会員をはじめ、全役員が協働してこの難題にあたることが大切です。

社会の移り変わりとともに、私たちを取り巻く福祉の環境も大きく変わりました。

それらの中には、私たちの活動で成し遂げたバリアフリーや福祉制度も少なからず存在し、今でも私たち自身の生活の実になり、糧にもなっています。

私たち車いす使用者団体の役割は、これに留まることなくまだまだ私たちにしかできないことは沢山あります。

神奈川県支部は、今後必要な要望活動は行わなければなりません、それだけではなく社会に役立つ私たち自身による事業も改めて考えていく必要があります。

1、支部発足30周年記念事業

ジョイスティック車試乗体験会の開催

ニッシン自動車のジョイスティック車 2台

開催日 平成23年3月31日(火)

場 所 湘南鴨宮自動車学校

参加者 50名

(当事者26名・ニッシン自動車5名・学校3名・その他16名)

操業40年にもなる、運転手動装置でおなじみのニッシン自動車工業(株)が日本で初めて開発した、ジョイスティック車の試乗体験会を神奈川県支部発足30周年記念事業として開催しました。

日本初の試乗会は、神奈川県小田原市にある湘南鴨宮自動車学校の教習コースをお借りして、全面的な協力のもとに、当事者26名がそれぞれ2台のジョイスティック車でコースを周るなどの試乗を行いました。

この日、ニッシン自動車工業(株)が提供した2台のジョイ車の1台は、「ツーレバー」と呼ばれているもので、運転席に向かって左側にアクセルとブレーキのレバーがあり、右側にハンドルのジョイスティックが装着されている車。

また、もう1台は、運転席に向かって右側に1本のジョイスティックがあり、スティックレバーを前に押すとブレーキ、後ろに引くとアクセル。左に倒すとハンドルが左に回り、右に倒すとハンドルが右に回るという2台のジョイ車で、参加者はそれぞれの手の機能に応じて、車種を選択し試乗しました。

はじめて試乗した参加者は、腕や手の機能に障害があり、これまで自動車の運転を諦めていた人が「このジョイ車は、理想的な移動手段になる。」などの評価があった一方で、まだ開発途上ということもあってステアリング操作やアクセル操作などに対する様々な注文や意見が出ました。

開発したニッシン自動車工業(株)には、今後それらの意見を受けて、さらに改良されたジョイスティック車の開発に期待が寄せられました。

2、セミナー「あなたの食生活を診断します」の開催

➤ 講 師 栄養管理士 田村須美子先生

開催日 平成22年12月11日(土)

場 所 「フォーラム246」

参加者 39名

障害があっても、また、障害がなくても病気のない健康なからだを維持するために欠かすことのできないのは、正しい食生活の知識を身に付けておくことが大切だと言われております。

とくに、運動不足になりがちな脊髄障害者にとっては、規則正しい食生活が生活習慣病をはじめ、排泄管理や褥瘡予防にも関係する基本的な問題が含まれています。

わかりやすく、そして優しく語りかけることで定評の田村先生の食生活のセミナーは、神奈川県支部では2回目になります。

この日は、集まった参加者が日頃の食事でのどのような食べ物を選んでいるか、というテーマで始まりました。

参加者がそれぞれ、ご飯やおかずなどの食べ物を書いたカードを選び、田村先生にそのメニューのチェックを受け、食べ過ぎてはいないか、や栄養が偏っていないか、或いは塩分を取りすぎてはいないか、などの評価をしてもらうなど、参加者自身が改めて日頃の食生活を学習しました。

その結果、参加者全員が概ねよく考えられた、控えめの食生活であったとする田村先生の評価もありました。

[支部忘年会の開催]

この日のセミナーの後、同じフォーラム246において支部忘年会を開催しました。

忘年会は、会員やそのご家族とセミナーの田村先生も合わせて39名が参加して、賑やかにカラオケやビンゴゲームなども行われ、今年1年間の苦労と心の垢を洗い流しました。

3、神奈川県総合リハセンター再整備

に関する県病院事業課との話し合い

と き	平成23年1月12日（水）
と ころ	リハビリセンター4階会議室
出 席 者	中山健一リハセンター常務理事・県病院事業課3名 ライトホーム2名・神奈川県議会議員長田進治 神奈川頸損会 星野 FLC 金子ほか2名・レッツ1名 県支部 山崎支部長・妻屋 明

神奈川県総合リハセンターは、昭和48年に東洋一のリハビリセンターとして開設されたが、その後35年以上が経過し、施設の老朽化と耐震性などに課題があるため、県としてリハセンターを再整備する運びとなりました。

平成25年から3年間の工事期間を経て、平成28年度に再整備された新築のリハ病院が開設することになった。主な再整備の概略は、

現在の9階建ての本館を解体して、裏側の中庭に地上4階地下1階の160床の新病院が建設され、現状の80床の脊損病棟はそのまま活用されることになっている。この日の話し合いは、現状の9階建が4階建になることから、訓練室が大幅に狭くなりリハビリ機能が悪化することや、七沢更生ホームとライトホームが解体され、七沢学園の居住棟の1・2階回を使用することから、利用定員が縮小される、などの問題について県や施設側と意見交換を行いました。

神奈川県支部からは、新築されることに当たり透析施設と呼吸器リハビリ施設を設置するよう強く要望しました。

4、関東ブロックの公益法人移行説明会に出席

と き 平成23年3月6日

と ころ 東京都目黒区「あいアイ館」

出 席 者 山崎支部長、路川副支部長

平成20年12月の公益法人制度改革により、現在の特例民法法人全国脊髄損傷者連合会は、不特定多数の者の利益の増進に寄与する、公益目的事業を行うことを主たる目的として、本部と全国各支部が一体となり公益社団法人全国脊髄損傷者連合会への移行を進めるため、全脊連本部による説明が行われ、支部から2名が出席しました。

支部では、第10回全国総会熊本県大会で全脊連の公益法人移行決議に賛成することになっている。

5、ピアサポート活動の実施

1、関東ブロックピアマネジャー現認研修会

開 催 日 平成23年2月19日～20日

場 所 ニューサンピア栃木

主 催 栃木県支部

講 師 栃木県頸髄損傷者連絡会会長 斎藤康雄
自立生活センターくればす事務局長 見形信子
(株)オーリアル代表取締役 大塚訓平

ピアサポート活動の充実と資質の向上を目指すために、現任のピアマネジャーや支部役員等ピアサポート活動の担当者を対象に毎年開催されている関東ブロックのピアマネジャー現任研修会に出席しました。

今回の研修会では、とくに見形さんの講演「ピアカウンセリングとは」の中の演習で改めて傾聴、人の話を聞くということを学ぶことができました。

2、ピアサポート活動

昨年度のピアサポート活動は、主に電話による相談支援でした。

脊髄損傷で様々な障害を受けたことによる悩みや対応などについて
家族や、また病院のケースワーカーからの相談を受け、適切なアドバイ
スを行いました。

6、平成22年度支部総会の開催

開催日 平成22年6月19日（土）

場 所 フォーラム246会議室

併 催 1、スポーツ吹き矢大会

2、懇親会

支部定例総会 出 席 者 19名

委任状提出者 43名

[資格審査]

平成22年4月1日現在支部会員数122名により、会則第10条2項
による総会成立の定足数は62名以上となり、今総会は成立しました。

(総会議事)

総会議事は、あらかじめ全会員に送付されている議案書をもとにおこ
なわれました。

はじめに議長選出の後、議事に入り、事務局長から第1号議案の平成
21年度事業報告が行われ、神奈川県重度障害者医療費助成制度が原
則的に維持されることになった。などについての報告会の開催報告や神
奈川工科大学で行われた、ロボットスーツの体験見学会開催報告などが
行われた後、財政部長から第2号議案の決算報告が行われ、監査役から
決算報告に伴う監査報告が行われ採決の結果、全会一致で了承されまし
た。また、第3号議案の平成22年度事業計画と予算案についても支部
提案通り全会一致で了承されました。

1、「スポーツ吹き矢大会の開催」

支部総会の後、同じ会場で家族の参加も含め18名が参加してスポー
ツ吹き矢大会を開催しました。大会は、頸損グループと脊損グループに
分かれて行われ、頸損グループでは田辺さん付添いの方が1位。脊損の
グループでは、ペリの小島さんが1位となり、それぞれ賞品を獲得しま
した。

2、「懇親会の開催」

1年に1回の支部総会の後は、会員相互の親睦を図ることを目的に毎
年懇親会を開催しています。

今回も家族や付添者を含め23名が参加して、食事を囲みながら打ち
解けたひと時を過ごしました。

7、定例役員会の開催

支部の運営や活動の推進など様々な行事の企画について、全役員の合議と協力体制のもと、円滑な事業実施を図るため定例役員会を開催しています。昨年度も下記の通り6回開催しました。

役 員 会	開 催 日	開 催 会 場
第199回	平成22年4月10日	相模原市「けやき会館」
第200回	平成22年 6月19日	伊勢原市「フォーラム246」
第201回	平成22年 8月22日	相模原市「けやき会館」
第202回	平成22年10月31日	相模原市「けやき会館」
第203回	平成22年12月11日	伊勢原市「フォーラム246」
第204回	平成23年 2月12日	相模原市「けやき会館」

8、支部会報「やわらぎ」の発行

昨年度の「やわらぎ」の発行は、第84号、第85号の2回発行しました。84号では、川崎協会が主催した介助犬セミナー、また、県央協会主催のグラウンドゴルフ大会などを掲載しました。

85号では、ニッシン自動車のジョイ車の取材記事などを掲載しました。

❖やわらぎ第84号……………平成22年4月11日 発行

❖やわらぎ第85号……………平成23年1月21日 発行

9、共同募金活動への参加

神奈川県支部では、社会貢献として毎年駅前等で行われる共同募金活動に参加していますが、昨年度も10月1日に横浜駅西口で4名が参加。10月5日には相模原市役所前で1名、厚木駅前で5名が参加して車いすから募金を呼びかけました。

10、第9回全国総会広島県大会に出席

全国総会は、6月10日から12日までの3日間ホテルグランヴィア広島で開催され、全国から33支部が参加しました。

神奈川県支部からは山崎支部長と路川副支部長が出席しました。

大会では、全脊連の公益法人移行問題が議題にあがり、次年度の総会で結論を出すことになりました。最後に平成23年度総会を熊本県で6月2日から3日間の日程で開催することを決め終了しました。

11、関東ブロック会議山梨県大会に出席

関東甲信地区の8支部が一堂に会して、障害者政策や要望事項などについての検討と相互の意見交換を行うブロック会議ですが、昨年度はホテルクラウンパレス甲府において山梨県支部の主催で開催されました。

支部から山崎支部長はじめ7名が出席しました。

会議では、各支部から事業報告、事業計画、要望事項や公益法人移行問題をはじめ各支部の組織の弱体化などの問題についても話し合われました。

また、次年度のブロック会議開催は神奈川県支部が担当することが決まり、関東ブロック会長(本部理事)に神奈川県支部の路川副支部長が就任することが決まりました。

12、障害者用自動車の無料点検サービスの実施

神奈川リハセンターの中庭で毎年実施している、障害者用自動車の手動運転装置や安全運転のための点検整備サービスは、JAFとニッシン自動車の協力で10月23日に行われ、合計33名が点検を受けました。

また、この日七沢更生ホームの文化祭が開催され、ニッシン自動車が開発した日本初の国産ジョイスティック車が展示されました。

13、協会活動

〔1〕川崎協会

1、シーティングセミナーの開催

開催日 11月23日(火)
会 場 川崎市国際交流センター2階
講 師 佐野俊也 アビリティーズケアネット(株)
参加者 41名

車いすとクッションで二次障害を防ぐシーティングセミナーでは実際のモジュールの車いすを使用して様々な二次障害を防ぐためのシーティングを学習しました。

また、セミナーの後、地下のレストランで参加者の親睦を目的に懇親会が開かれ39名かが参加しました。

〔2〕横浜協会

1、横浜港クルージングと中華街でお食事会

開催日 10月8日(金)
会 場 ロイヤルホールヨコハマ中華レストラン 桃桃林
遊覧船 マリーンシャトル
参加者 29名

〔3〕県央協会

1、一泊研修 「グラウンドゴルフ大会でリラックス」

開催日 5月26日(水)
会 場 伊豆 潮風館
参加者 会員家族合わせて11名
シングルス 優勝 城ノ上友一 2位路川十九夫 3位城ノ上貴美江
ダブルス 優勝 城ノ上貴美江・城山忠士

12、その他の活動

- 1、支部では、山崎支部長を平成 22 年度の神奈川県障害者施策推進協議会委員に推薦し、委員に就任した。これに伴い 7 月 29 日・2 月 11 日開催された各委員会に出席した。
- 2、支部は、5 月に T O T O 株式会社マーケティング本部からトイレについてのアンケート調査の協力依頼を受け、頸損、脊損、脳性麻痺の男女 1 名ずつ紹介した。
- 3、8 月 20 日、山崎支部長は、支部創立 30 周年記念事業の開催に当たり小田原市の鴨宮自動車教習所を訪問し、開催会場について協力を求め、承諾を得た。また、2 月 2 日にも改めて福祉車両、試乗、展示、説明会の開催など詳細について打ち合わせを行った。
- 4、8 月 11 日、障害者自動車無料点検サービス実施に当たり、支部では J A F 厚木基地に出向き開催依頼の相談をした。出席は山崎、路川、藤原。
また、山崎支部長は 1 月 24 日 に開催された J A F 神奈川支部交通安全委員会に出席しました。
- 5、長野県支部主催によるグラウンドゴルフ大会が 10 月 16 日に開催され、支部から明比さん、城ノ上夫妻の 3 名が参加しました。
- 6、神奈川県障害者社会参加促進センター関係の主な活動
9 月 12 日・・小田原市西湘地区体育センターで開催されたスポーツ吹き矢教室に山崎支部長、路川副支部長が参加した。
9 月 26 日・・肢体部歩行訓練、大和市泉の森の 5 キロコースに車いすで参加した。
11 月 27 日・・神奈川県障害者社会参加促進センター研修会「障害者制度改革推進のための基本的な方向について」が開催され、支部から路川副支部長はじめ 5 名が参加した。
12 月 4 日・・あじさい会館で開催された障害者文化芸術祭に路川さん出席。
12 月 8 日・・人権メッセージ展が開催され、路川副支部長が参加した。
その他、路川副支部長は神奈川県障害者社会参加促進センターの各会議に出席した。

以上